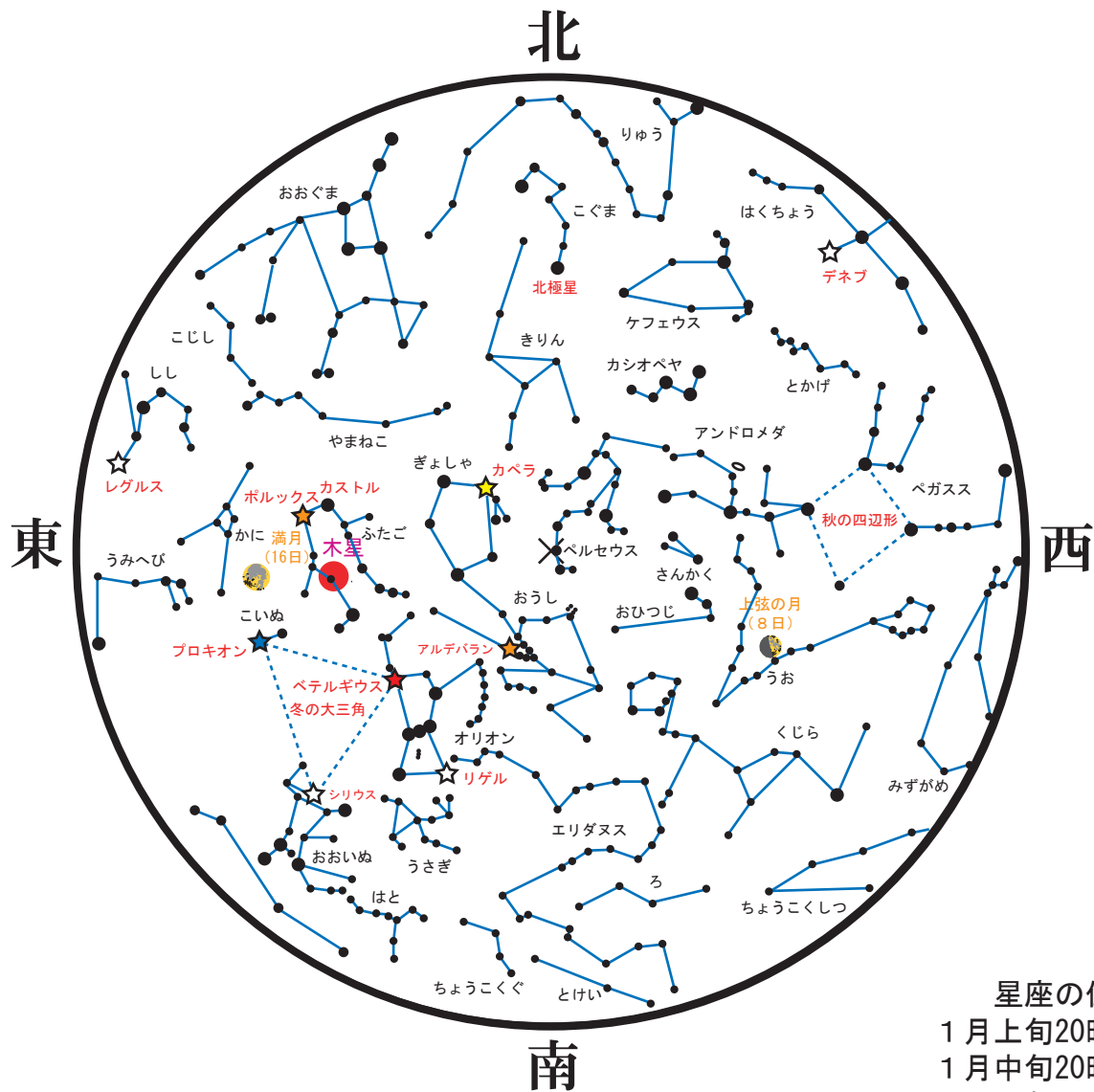


2014年1月の星空

1月の宵の空には、西にペガサス座やアンドロメダ座などの秋の星座が、南東から東にかけてオリオン座、おおいぬ座、ふたご座、こいぬ座などの冬の星座が見えています。この空にはシリウスをはじめ、ベテルギウス、リゲル、プロキオン、ポルックスなど明るい星が多く、とても華やかです。

また、木星が東の空で、一等星の20倍以上の明るさで輝き、とても目立ちます。



星座の位置

- 1月上旬20時40分ごろ
- 1月中旬20時0分ごろ
- 1月下旬19時20分ごろ

※南を向いて見上げた時の図で、星座を囲む円が地平線、中央の×印が頭の真上(天頂)をあらわします。